

クロマリュージョンカラー

2K ベースコート

製品概要

角度により劇的な色変化をする特殊効果カラー。

組成: アクリル樹脂

製品構成

KKxxxFX	クロマリュージョンカラー
12305S	アクティベーター
7160S	ベースメーカー (速乾)
7175S	ベースメーカー (標準)
7185S	ベースメーカー (遅乾)
7195S	ベースメーカー (超遅乾)

製品特性

- 非常に透明性の高い色。
- クロマリュージョンカラーはグラントカラー(下塗り)により、表現できる色は無数。
- センタリ®AM 原色を 5%まで加えることが可能。
- ドラマチックなカラーチェンジ効果。
- クロマックスの全ての 2K クリヤーを塗布可能。

塗装対象素材

- 全ての新車塗膜
- クロマックスプライマーサフェーサー
- クロマックスサフェーサー
- 完全硬化した補修塗膜

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

クロマリュージョンカラー-1

クロマリユージョンカラー 2K ベースコート

製品の使用について

 混合比		速乾		標準		高温時	
		容量	重量	容量	重量	容量	重量
	クロマリユージョン	16	100	16	100	16	100
	12305S	1	7	1	7	1	7
	7160S	16	86	—	—	—	—
	7175S	—	—	16	86	—	—
	7185S/7195S	—	—	—	—	16	86
	VOC	695g/リットル					
 ポットライフ (20°C)	8 時間						
 スプレー粘度 (20°C)	Zahn #2	15-17 秒					
 スプレーガン * 1ハール=1Kg/cm2		ガン口径	ガン距離	エア圧			
	通常ガン						
	重力式	1.4-1.6 mm	15-20 cm	2.5-3.0 ハール			
	吸上げ式	1.4-1.6 mm	15-20 cm	2.5-3.0 ハール			
	HVLP/HTE ガン						
	重力式	1.3-1.6 mm	15 cm	ガンメーカーの指示に従う。			
 塗装回数	3-5 コート						
 フラッシュタイム	コート間: 5-10 分 クイヤコート前: 15-30 分						
DFT(乾燥膜厚)	20-25 μ						

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

クロマリユージョンカラー-2

クロマリュージョンカラー

2K ベースコート

推奨使用方法

塗膜の表面処理

1. 石鹼と水で表面を洗浄し、すすいで乾かす。
2. クロマックスクリーニング剤(3919S)で洗浄し、清浄なクロスで拭いて乾かす。
3. 損傷の程度に合わせ適切に処理をする。
4. サンディングを行う
 - a. 機械研磨:P360-P400-P500
 - b. 水研ぎ:P1000-P1200
5. クリーンなエアですべてのサンディング粉をブローし、取り除く。
6. クロマックスクリーニング剤(3812S/3920S)で洗浄し、清浄なクロスで拭いて乾かす。
7. タッククロスをかける。

ベースコートの塗装

きれいに処理された表面にセンタリ® 600、6000 のグラントカラー(下塗り)または、バリューシードを使い、隠蔽あるいは色が合うまで、コート間で5-10分のフラッシュタイムを取りながらミディアムコートで3-5回塗布する。

クイヤーコートの塗装

クロマリュージョンカラー塗装後、15-30分のフラッシュ後、クイヤーコートする。
(低温時や高膜厚の場合、30分以上フラッシュタイムをとる。)
クイヤーコートまでの最長時間は24時間。
(温度、湿度、塗装条件等に影響を受けます。
適切なフラッシュタイム後、すみやかにクイヤーコートすることを推奨します。)

機器の洗浄

ラッカーシンナーで洗浄する。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

クロマリュージョンカラー

2K ベースコート

推奨使用方法 (続き)

注意事項

- ホットライフを過ぎたクロマリュージョンカラーは使用出来ません。また更に希釈して粘度を落としても使用出来ません。
- クロマリュージョンカラーをサンディングしないで下さい。
- 樹脂パーツに塗装する場合、クロマリュージョンカラーに 805R を添加する必要はありません。
- クロマリュージョンカラーはバリューシード (VS5 or VS6) を使用して下さい。必要以上の膜厚を防ぐことができ、隠蔽性、仕上がり外観を良くします。
- センタリ[®]AM 原色 5%以上加えるとクロマリュージョンカラーの効果を激減させます。
- 3層構造の場合はグラントカラー(下塗り)に必ず BK220 を加えて下さい。
- 硬化剤は必ず 12305S を使用して下さい。
- シナーは必ずベースメーカーを使用して下さい。他のシナーは使用出来ません。
- 塗膜が厚くなったり、低温時には 30 分以上フラッシュさせて下さい。
- アクティベーターの缶は使用后すぐに閉めて下さい。空気中の湿気や水分と反応し、硬化不良の原因になります。
- 塗料は使用前に室温(18-25°C)で保管して下さい。

製品データ

塗装面積 (理論値) : 16.2 m²/L (推奨膜厚 - 希釈済み塗料)

製品データ

使用前に SDS を参照し、製品容器に表示されている指示に従って下さい。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

クロマリュージョンカラー-4

クロマリュージョンカラー 2K ベースコート

補修要領

スポット補修

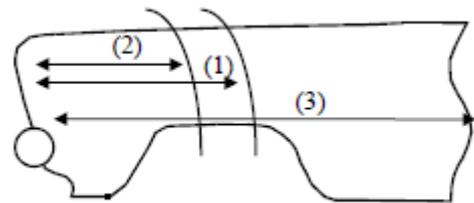
1. 石鹼と水で表面を洗浄し、すすいで乾かす。
2. クロマックスクリーニング剤(3919S)で洗浄し、清浄なクロスで拭いて乾かす。
3. 推奨されているアンダーコートを塗布する。(ハリュージェットシステムを使用)
4. 補修部分を推奨されたサンディング処理を行う。
5. ホコリ部分全体に中目のコンパウンドあるいは水研ぎ P1200 で足付けする。
6. 水ですすいで乾かす。
7. クロマックスクリーニング剤(3812S/3920S)で洗浄し、清浄なクロスで拭いて乾かす。
8. タッククロスをかける。

ミッドコートを使用する場合

ミッドコート: 下記何れかを使用。

- ・222S
- ・AB160:JAB380=1:0.8、
- ・XB165:JAB380=2:1~1:1

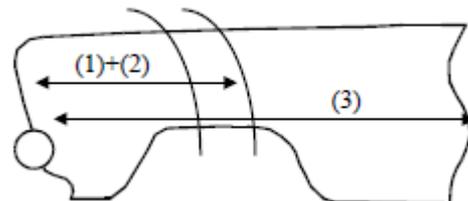
- ① ミッドコートを塗布する。
- ② クロマリュージョンカラーを 3-5 コートする。
各コートは前のコートより広く塗布する。
- ③ クロマリュージョンカラー最終コートの艶が完全に引いてから
パネル全体にクリアコートする。



スプレー圧力: スポット補修エリア: 2-2.5 バール

ミッドコートを使用しない場合

- ① クロマリュージョンカラーを 3-5 コート塗布する。
+ 各コートは前のコートより広く塗布する。
- ②
- ③ クロマリュージョンカラー最終コートの艶が完全に引いてから
パネル全体にクリアコートする。



スプレー圧力: スポット補修エリア: 2-2.5 バール

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

クロマリュージョンカラー-5